

②造成等の施工による一時的な影響

ア)土地の改変による個体の消失

土地の改変による個体の消失については、造成等の施工に伴う土地の改変区域と重要な種の確認地点との重ね合わせにより、土地の改変に伴う個体の消失による重要な種の生育状況の変化を予測した。

予測手順は図-6.8.2(1)に示すとおりであり、重ね合わせの結果、改変区域内で確認され、土地の改変により個体が消失することが考えられる重要な種については、沖縄県内及び石垣島内における分布の状況、改変区域内外の確認状況を基に、事業実施区域周辺の個体群が存続できないおそれの程度を以下のとおり予測した。

まず、国外、国内、沖縄県での分布状況を既存文献から把握し、次に石垣島における分布状況及び個体数を既存文献、平成元年などの既存調査結果及び現地調査結果から、石垣島内の生育状況ランクを以下に示すA、B、Cの3ランクに区分した。基本的に、A及びBランクに分類された高い重要度を有する可能性のある種については、消失する個体数に拘わらず、個体群が存続できないおそれがあるものと判断した。

Aランク:分布や個体数が限られ、特に保護の必要性が認められる種(分布・個体数双方が少ない種や、局部的に分布するか或いは個体数の極めて少ない種)。法的規制種。

Bランク:分布が限られるか、もしくは個体数が少ない種。また、分布や個体数の双方がやや限られる種。法的規制種。分布や個体数情報が不明であり念のため保全に努める必要性の認められる種

Cランク:Aランク及びBランクに該当しないその他の重要な種

また、事業実施区域周辺における分布状況を平成13・14・15年度の調査結果における確認個体数から計数し、改変区域内外で比較を行い、改変区域外で多数確認されている場合や、改変区域内外が同程度の生育状況で改変区域外に多数の生育が認められる場合については、個体群が存続できないおそれは小さいと判断した。

なお、改変区域内に生育するものであってもゴルフ場内で植樹した個体については、庭園用として人為的に持ち込まれたことを考慮し、事業実施区域周辺の野生個体群が存続できないおそれは小さいものと判断した。

イ)粉じん等による生育環境の変化

施工面からの粉じん等が重要な植物種の生育環境に及ぼす変化は、「6.2 大気質」の予測結果を考慮するとともに、必要に応じて予測の基礎データとして新たに大気質の濃度を算出し、重要な種の光合成及び呼吸を妨げるおそれについて予測を行った。なお、粉じん等の予測結果については造成等の施工による一時的な影響及び建設機械の稼働の双方を考慮した値とした。